

# 福祉保健研修交流センター ウィリング横浜

## 令和3年度 事業報告書

### 1 施設の管理運営・貸出業務

#### (1) 施設の目的に沿った管理運営

施設の設置目的である「福祉活動、保健活動等に従事する者その他の市民に対し研修、情報の提供等を行い、並びにこれらの者の交流の場及び機会を提供することにより、福祉活動、保健活動等の推進に必要な人材の養成及び確保を図る」（横浜市福祉保健研修交流センター条例第1条）に沿った運営を行うため、福祉保健活動従事者等へ施設を提供しました。

研修室や付帯設備の貸出にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、机や椅子など人が触れる箇所の消毒や非接触型体温計の貸出などに取り組みました。

#### ア 目標稼働率

##### 研修室・討議室を合計した貸出状況

	R1年度	R2年度	R3年度
貸出室数（室）	11,969	7,493	10,198
稼働率（%）	57.6	38.0	41.6
平日昼間（9時～17時） 稼働率（%）	65.7	47.4	55.4

第4期指定管理期間の目標稼働率 62%及び、平日昼間の目標稼働率 73%を下回る結果となりました。

その要因としては、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開館時間の短縮や新規予約の受付停止等を行ったこと、さらに、利用者からも同理由によりキャンセルが発生したことなどが考えられます。

#### 【参考】

##### 全館貸出状況（研修室・討議室・介護実習室・調理実習室・和室）

	R1年度	R2年度	R3年度
貸出室数（室）	14,484	8,710	12,028
稼働率（%）	52.8	34.1	37.6

#### イ 施設利用者数

	R1年度	R2年度	R3年度
利用者数（人）	139,589	52,167	83,232
福祉保健従事者利用	92,118	33,696	56,605
一般利用	41,302	14,437	21,761
主催研修等	6,169	4,034	4,866

## ウ 周知・広報

コロナ禍においても安心してご利用いただけるよう、当館が行っている感染症対策と多様な研修室を掲載したチラシを新たに作成し、福祉保健関係団体へ約 2,800 部配布しました。また、インターネットの会議室検索サイトへの掲載、地域イベントのチラシや本会の広報誌「福祉よこはま」へ掲載し、周知を図りました。

## (2) 建物・施設の管理

利用者が施設を快適・安全・安心して利用できるよう、施設の維持・保全・管理に努めました。

### ア 建物・設備機器修繕業務

建物や設備機器の修繕を 28 件行いました。

臨時休館日や貸出室の利用のない時間帯に設備点検等を実施し、設備の保守及び小破修繕に努めました。

なお、第 4 期指定管理期間で実施する修繕・備品更新計画に沿った修繕として、9 階研修室・討議室のフロアカーペットや 12 階研修室内の壁紙の貼替、11 階空調機器等修繕工事等に取り組みました。

### イ 清掃・設営業務

#### (ア) 日常清掃

良好な環境衛生や美観の維持を心がけ、施設として安全かつ快適な空間を保つために日常清掃を行いました。また、感染症対策として、机や椅子、マイク、鍵などの消毒を徹底しました。

#### (イ) 定期清掃

日常清掃では実施が困難な箇所の清掃をするため、年 4 回定期清掃を行いました。

#### (ウ) 研修室等の設営

利用者から机・椅子等の配置や備品の要望を事前に伺い、当日の利用が円滑かつ利用満足度が上がるよう準備しました。

### ウ 警備関係業務

職員による 1 日 2 回の定期巡回の他、警備員による警備は年中無休・24 時間体制とし、ゆめおおおか管理組合と連携して施設の防犯、保安管理に努めました。また、防犯カメラにより、防犯上重要箇所の確認を行いました。

## (3) 利用者ニーズの把握、苦情対応

### ア ご意見箱の設置

館内に 4 か所設置しているご意見箱にて 4 件（2 年度：8 件）のご意見をいただき、回答を館内に掲示しています。また、寄せられた苦情は 0 件（2 年度：0 件）でした。

#### ※ 主なご意見と回答

ご意見（要約）	回答（要約）
【館内設備への要望】 Wi-Fi が欲しい。オンライン会議が扱える場所が欲しい。	当館の研修室は、有線 LAN によるインターネット接続が可能となっています。そのため、有線 LAN を活用してパソコン等でご利用ください。

### イ 窓口満足度調査と利用者アンケート

来館者に対する窓口満足度調査（11 月）を行い、207 件の回答をいただきました。

結果は、窓口対応について 4 点中 3.8 点の評価をいただきました。引き続き利用者本位の接遇に努めます。あわせて、利用者アンケートを実施し、設備・備品の使用状況等についてご意見を伺い、備品の一部更新を行いました。

#### (4) 職員体制・育成

施設運営や事業運営に支障がないよう、職員配置計画通りに配置することができました。職員育成の取組としては、本会「人材育成計画」に基づき、苦情解決研修や接遇研修を受講して接遇技術の習得に努めました。さらに、全職員が感染症を起因とする差別解消をテーマとした人権研修を受講して、感染症に対する理解と人権問題に対する理解を深めました。

## 2 人材育成事業

### (1) 主催研修

福祉保健従事者及び民生委員・児童委員等の活動者を対象とする、公共性の高い研修機関として 69 件の研修を実施しました。研修コンセプトの「組織力の向上」と「地域福祉の推進」を意識し、「地域力を高める」の研修では地域でのネットワーク作りができる人材の育成を目的とした研修を実施しました。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、消毒の徹底やゆとりのある会場の確保のほか、グループワークから講義形式への切り替えや、一部の研修については、動画配信や双方向の web 研修を取り入れるなど、対面や接触を避けた研修方法の工夫により、安心して研修を受講できる環境を検討し提供しました。

研修の企画にあたっては、研修の受講者アンケート、施設・事業者へのヒアリング、横浜市社会福祉協議会他部署のアンケート等を検討し受講ニーズの把握に努めました。研修受講者アンケートの希望から、3年度は「web 会議ツール入門」や「今こそ聞きたい！SDGs の基礎」、「福祉職が知っておきたい高齢者の医療基礎研修」などを採用し、新規研修として実施しました。全体の応募率は約 150%と非常に高く、感染症対策を徹底した上で定員を超えた受講決定を行った結果、計画より多くの受講者数の受け入れに繋がりました。

引き続き開催する研修についても、アンケート等の意見を参考に内容等を改善し実施しました。その結果、「(5) 受講者アンケート結果」にあるとおり、受講者からは 96.8%の総合評価をいただきました。

研修事業の年次推移（指定管理外事業を除いた実績を表示）

	R1年度	R2年度	R3年度
研修件数（件）	72	54	69
研修コース数（コース）	79	58	72
研修受講者数（人）	5,527	2,268	4,477
研修開催日数（日）	97	74	87

#### ア 組織力を高める：33件

組織人、職業人として、各々の職員が職務階層別に求められる役割行動を理解し、自らのキャリアデザインを描くこと、そして、組織活動を円滑かつ効果的に進めるための知識や技術の修得を目的として実施しました。

	研 修 名	コース数 (コース)	合計日数 (日)	合計定員 (人)	受講者数 (人)
1	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 I 初任者研修～新卒者編～	2	6	56	32

2	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程Ⅰ 初任者研修～社会人経験者編～	2	4	51	36
3	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程Ⅱ 中堅職員研修	1	2	28	35
4	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程Ⅲ チームリーダー研修	2	4	56	54
5	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程Ⅳ 管理職員研修	1	2	28	24
6	2, 3年目 フォローアップ研修	1	1	32	38
7	リーダーシップ基礎研修	1	1	36	46
8	後輩育成担当者のためのOJT研修	1	2	36	37
9	チームリーダーのための人材育成研修 ※日程変更	1	1	36	28
10	社会福祉施設の運営基礎 ～現場で求められる人材育成とは～	1	1	36	21
11	トップセミナー ～キャリアパス対応！人事賃金制度について～ 【後日動画配信併用】	1	1	40	会場受講 21 ----- 後日動画配信 13
12	研修のススメ！ ～人が育つ職場づくりを目指して～ 【ライブ配信併用】	1	1	40	会場受講 16 ----- ライブ配信受講 48
13	初任者のためのストレス対策研修【出張研修】	1	1	36	27
14	チームリーダー・中堅職員のためのセルフマネジメント研修	1	1	36	37
15	管理者のためのメンタルヘルス対策研修	1	1	36	24
16	基礎から学ぶリスクマネジメント研修	1	1	42	45
17	中堅職員のためのリスクマネジメント研修	1	1	36	48
18	組織で取組むリスクマネジメント研修 ～BCPをはじめとする組織の体制整備～	1	1	36	61
19	組織で取組むリスクマネジメント研修 ～BCPをはじめとする組織の体制整備～ 【オンライン】	1	1	36	24
20	苦情対応基礎研修	1	1	42	37
21	高齢者虐待の防止について	1	1	40	40

22	ビジネスマナーの基本～福祉職場における接遇	1	1	40	46
23	ビジネスマナーの基本～福祉職場における接遇 【出張研修】	1	1	32	28
24	チームリーダー・中堅職員のための接遇研修	1	1	42	45
25	サービスレベルアップのための記録の書き方・読み方研修【オンライン】	1	1	40	37
26	問題解決向上研修～より良い職場づくりを目指して～【オンライン】	1	1	40	43
27	伝える、伝わる記録の書き方研修	1	1	36	43
28	社会福祉法人会計基準対応研修 基礎編	1	2	35	42
29	社会福祉法人会計基準対応研修 応用編	1	2	35	36
30	労務管理研修	1	2	42	43
31	広報力向上研修 ～施設の魅力を情報発信するために～	1	1	36	28
32	福祉現場における WEB 会議ツール入門 ～まずは、導入にチャレンジ～	1	1	36	25
33	今こそ聞きたい！SDGs の基礎	1	1	42	23
計 33 件		33	50	1,271	1,231

#### イ 専門力を高める：28 件

福祉保健活動従事者として求められる社会福祉実践の原則や、自らのスキルアップを目的とした知識、技術の修得を目的として実施しました。

	研 修 名	コース数 (コース)	合計日数 (日)	合計定員 (人)	受講者数 (人)
1	対人援助の本質と基本的視点～支援とは何か～	1	1	28	28
2	対人援助の本質と基本的視点～支援とは何か～ 2 コース	1	1	42	46
3	対人援助基礎研修～自己理解・他者理解～ 【カレッジ連携】	1	1	40	58
4	面接技術～相談面接・生活場面面接を学ぶ～	1	1	36	33
5	アセスメント技術 ～利用者の生活世界を理解する～	1	1	36	35

6	スーパービジョン基礎技術 ～援助者の成長を支援するために～	1	2	36	35
7	プレゼンテーション研修【出張研修】	1	1	32	26
8	プレゼンテーション研修	1	1	40	30
9	ファシリテーション研修	1	1	36	34
10	障害者支援基礎研修 ～利用者本人の「思い」に寄り添うために～	1	1	36	39
11	生活支援の現場から知る 大人の発達障害	1	1	40	61
12	認知症高齢者のケア ～認知症高齢者の日常を支えるケアとは～	1	1	36	43
13	福祉職員のための「認知症の理解と支援」	1	1	50	56
14	子どもの感染症講座～職員と家族の安心のために～ 【カレッジ連携】【後日動画配信併用】	1	1	50	会場受講 23 後日動画配信 16
15	子ども虐待の防止に向けて ～保育士に期待される関わり～	1	1	36	51
16	気になる子どもの理解と対応・保護者への関わり方	1	1	30	56
17	こどもの食物アレルギーとアトピー性皮膚炎 ～正しい理解と対応～	1	1	50	39
18	制度を学ぶ研修～生活保護制度とは～ 【後日動画配信併用】	1	1	32	会場受講 40 後日動画配信 52
19	制度を学ぶ研修～初めて学ぶ成年後見～	1	1	40	37
20	ターミナルケア研修	1	1	36	40
21	医療機関との連携の進め方	1	1	30	37
22	施設における新型コロナ対策研修 【後日動画配信併用】	1	1	36	会場受講 27 後日動画配信 30
23	福祉職が知っておきたい高齢者の医療基礎研修	1	1	30	55
24	福祉職が知っておきたい高齢者の医療基礎研修 追加コース	1	1	30	23
25	薬を知って上手に付き合おう【カレッジ連携】	1	1	36	会場受講 44

	【後日動画配信併用】				後日動画配信 16
26	口から食べることをチームで支援しよう! 【カレッジ連携】	1	1	60	43
27	介護予防基礎研修	1	1	50	29
28	糖尿病を知ろう～基礎知識から最新治療まで～ 【カレッジ連携】	1	1	40	52
計 28 件		28	29	1,074	1,234

ウ 地域力を高める：5件

地域貢献の理解（専門知識・技術の地域還元等）を深め、地域協働について主体的に気づき・考え・行動することを目的として研修を実施しました。

	研 修 名	コース数 (コース)	合計日数 (日)	合計定員 (人)	受講者数 (人)
1	社会福祉施設に求められる地域支援とは～地域共生社会における施設の役割～	1	1	36	34
2	親あるうちの成年後見～横浜市障害者後見的支援制度と成年後見を学ぶ～	1	1	50	52
3	コロナ禍の子どもたち ～あげられないその声に気づくために～	1	1	36	37
4	新しい生活様式から考える地域とのつながり ～オンラインの可能性を広げよう～	1	1	36	29
5	小地域福祉活動推進研修 【後日動画配信併用】	1	1	500	会場受講 199 後日動画配信 469
6	地域福祉つなぎ隊研修 ※中止	—	—	—	—
計 5 件		5	5	658	820

エ 横浜市民生委員児童委員研修：3件

民生委員児童委員、主任児童委員の方を対象とした、各種研修を実施しました。

	研 修 名	コース数 (コース)	合計日数 (日)	合計定員 (人)	受講者数 (人)
1	会長・副会長研修 ※中止	—	—	—	—
2	地区会長研修	1	1	263	173
3	リーダー養成研修【動画視聴】	1	1	250	562
4	主任児童委員研修〔後日動画視聴併用〕	1	1	529	会場受講 25

4	主任児童委員研修 ※日程変更 〔後日動画視聴併用〕	1	1	120	後日動画配信 432
計 3 件		3	3	1,042	1,192

## (2) 研修支援

横浜市内の福祉・保健事業者の職場内における職員研修の実施方法や講師に関する相談など、研修・人材育成に関する相談に対応しました。

・相談受付件数 13 件

また、施設・事業所内における研修計画の重要性や、外部研修と内部研修の活用方法について取り上げた研修、「研修のススメ！～人が育つ職場づくりを目指して～」を事業所支援の一環として、無料で実施しました。

## (3) ハマ・キャリア・ネット

福祉保健研修情報サイト「ハマ・キャリア・ネット」にて、インターネット上で研修案内の公開し、WEB 申込受付を実施しました。

新規会員登録、WEB 申込者数ともに大幅に増加しています。

	R 元実績	R 2 実績	R 3 実績
ハマ・キャリア・ネット閲覧数	18,684	12,530 件	19,353 件
ハマ・キャリア・ネット新規会員登録数	38 件	39 件	194 件
WEB 申込者数	93 人	140 人	512 人

## (4) 研修委員会の開催

研修事業をより円滑に進めるために、外部有識者を中心とする研修委員会を設置し、研修事業の方針、企画、進行管理等について協議しました。その結果、令和4年度の新規研修企画立案に繋がりました。委員会は3回とも会場とオンラインの併用で開催しました。

また、研修委員会委員長の協力のもと「研修のススメ！～人が育つ職場づくりを目指して～」を研修支援の一環として実施しました。

〔委員構成：学識経験者2人、よこはま福祉・保健カレッジ関係機関2人、行政関係者1人、ウィリング横浜1人 計6人〕

### <第1回>

開催日：令和3年6月18日（金）

内 容：委員の委嘱について

令和2年度ウィリング横浜事業報告（案）について

令和3年度ウィリング横浜研修等事業の年間計画について

研修委員会の日程について

出席者：委員4人

### <第2回>

開催日：令和3年11月8日（月）

内 容：令和3年度 研修事業中間振り返りについて

令和3年度 各事業の進捗状況について

ウィリング横浜研修支援事業「職場内研修の手引き」（仮）作成について



令和4年度 研修計画について  
出席者：委員6人

<第3回>

開催日：令和4年1月18日（火）  
内 容：令和3年度 事業進捗状況について  
令和4年度 研修計画について  
選定会議について  
ウィリング横浜研修支援事業について  
出席者：委員6人

(5) 受講者アンケート結果

4段階で評価項目を設定し、受講者からの「4」と「3」の評価を併せた結果、会場受講では96.8%の総合評価をいただきました。自由記載欄では「感染症対策が徹底していて安心して受講できた」等の受講者の声をいただきました。なお、オンラインにおいては昨年度実施した際にアンケート回収率の低さが顕著であったため、研修資料にFAX送付用のアンケートを同封し、併せてWEBで回答するためのQRコードを掲載するなどの工夫をした結果、回収率が上昇しました。

【会場受講者アンケート】

研修内容の理解度 (%)	98.0
講師の指導方法の適切さ (%)	97.1
研修内容の満足度 (%)	95.5
今後の業務への参考度 (%)	96.8
総合評価 (%)	96.8

アンケート回収率 (%)	96.8
--------------	------

【オンライン受講者アンケート】

研修内容の理解度 (%)	96.1
講師の指導方法の適切さ (%)	95.6
研修内容の満足度 (%)	91.7
今後の業務への参考度 (%)	93.7
総合評価 (%)	94.2

アンケート回収率 (%)	67.9
--------------	------

(6) 福祉施設等ヒアリング

以下を目的として市内の福祉施設等に出向きヒアリングを実施しました。

- ・ウィリング横浜主催研修へのご意見、ご要望の収集及び周知
- ・施設内外の研修受講実績等の把握
- ・人材定着の施策、工夫についての情報収集

訪問調査数：全8件

研修への意見として、「これまで通りに集合研修を実施していただきたい」という声を

多数いただきました。その理由の多くは、研修会場で色々な職場、職種の人と交流することが有意義であるため、というものでした。

### 3 よこはま福祉・保健カレッジ事業

「よこはま福祉・保健カレッジ事業に関する覚書」を横浜市内の大学・専門学校・職能団体・NPO法人等の参画機関と締結しました。参画機関間における福祉保健分野の人材確保・定着・育成の情報交換や相互協力に向けた連絡調整等を目的として、全参画機関によって構成する連絡会議を設置しています。

参画機関数：21 団体

#### (1) よこはま福祉・保健カレッジ認定講座の実施

参画機関が実施する講座のうち、福祉活動・保健活動等の推進に必要な人材の育成及び確保に繋がる内容のものについては、よこはま福祉・保健カレッジ認定講座として承認しました。さらに、チラシの配布や、「ハマ・キャリ・ネット」に掲載し、周知広報についても連携を行いました。

認定講座：171 講座 受講者 3,813 人

#### (2) よこはま福祉・保健カレッジ連携講座の実施

福祉保健活動従事者を主な対象としてカレッジ参画機関の専門性を生かした研修を企画し、講師の派遣等を受けることにより、主催研修としてカレッジ連携講座を実施しました。

連携講座：8講座 受講者365人

#### (3) よこはま福祉・保健カレッジ連絡会議の開催

参画機関の相互連携・協力実現に向けて、よこはま福祉・保健カレッジ連絡会議を開催しました。令和3年度は、会場とオンラインを併用し、2回開催しました。

##### 第1回連絡会議

開催日：令和3年5月19日（水）

内 容：（1）よこはま福祉・保健カレッジ連絡会議 代表・副代表の選出について  
（2）令和2年度よこはま福祉・保健カレッジ事業報告について  
（3）各機関 令和2年度事業および令和3年度事業計画について

##### 第2回連絡会議

開催日：令和4年3月8日（火）

内 容：（1）【情報交換】令和3年度の事業実施報告及び次年度事業について  
（2）よこはま福祉・保健カレッジ事業に関する諸手続きについて

#### (4) よこはま福祉・保健カレッジとウィリング横浜の事業連携

参画機関と連携して、人材確保事業として就職支援や定着支援のための講座等を実施しました。

・介護労働安定センター「就職説明会」（詳細は 5(2)ア 就職説明会の実施 を参照)

### 4 情報収集・提供事業

社会福祉・保健関連分野の図書・資料等を幅広く収集し、整備・保管しました。貸出や館内閲覧等の方法で提供するほか、インターネットで図書の検索ができるシステムの運用を

行い、市民に利用しやすい情報提供を行いました。

利用者が目的の本を探しやすいよう蔵書分類の見直しを行い、利便性向上を図りました。

主催研修、資格関連研修において、研修テーマに関連する蔵書リストや新着図書案内を配付し、蔵書の紹介を行いました。

また、初めて福祉にかかわる方にも読みやすい、福祉をテーマとした漫画も収集し、貸出件数が増加しました。

企画展では、「子どもの貧困」「こころの疲れを感じた ときに開く本」「マンガで発見！福祉の世界」の各テーマに関連した本を展示しました。「こころの疲れを感じたときに開く本」では、共催した「こころの相談室」スタッフのおすすめ本を展示しました。

利用促進のため、研修情報を発信するメールマガジンや LINE、YCAN（横浜市職員専用インターネット掲示板）に新着図書を紹介するとともに、「福祉よこはま」（横浜市社協の広報紙）に広告を掲載しました。

手指消毒液の設置、調査研究席の消毒など、引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止に努めました。

### （１）収集整備状況

	R1 年度	R2 年度	R3 年度	所蔵数 (R3年度末時点)
図書・資料（点）	579	567	571	38,217
逐次刊行物（点）	803	791	759	26,375
視聴覚資料（点）	13	18	13	1,144
合 計	1,395	1,376	1,343	65,736

### （２）利用状況

#### ア 利用者数・館外貸出数

	R1 年度	R2 年度	R3 年度
利用者数（人）	9,165	4,695	7,460
貸出数（件）	6,396	4,035	7,509

#### イ 登録者数

	R1 年度	R2 年度	R3 年度
登録者数（人）	220	124	262

※ R3 年度末総登録者数 13,229 人

### （３）企画展

	期間	テーマ	連携講座等	閲覧者数（人）
1	7月14日～7月27日	子どもの貧困		98
2	10月13日～11月2日	こころの疲れを感じたときに開く本	共催：こころの相談室	158
3	1月19日～2月8日	マンガで発見！福祉の世界		150

## 5 人材確保・定着支援事業

福祉保健分野における恒常的な人材不足を踏まえ、福祉保健職場の理解促進を目的に福祉の仕事に関する情報提供や就職説明会等の各種事業を開催しました。

また、福祉の仕事に関する理解促進や、施設・事業所の人材確保支援を図る事業も実施しました。

### (1) 福祉保健分野に関する情報提供の実施

福祉に関する人々（福祉保健事業従事者、ウィリング横浜利用者、福祉に関心がある市民など）が交流を深めるきっかけの場、福祉に関する各種情報を提供する場として12階交流スペース「ウェルじゃん」を運営しました。

デジタルサイネージによる福祉の仕事に関わる啓発動画コーナーを設置し、かながわ福祉人材センターの啓発動画や施設・事業所紹介動画などの情報を発信しました。

独自に行っていた求人情報掲載は、令和4年3月31日をもって終了し、求人情報提供から職業紹介まで行っているかながわ福祉人材センターのリンクをホームページに掲載するなど、福祉人材確保における情報提供を行いました。

- ・新規登録法人数：6法人
- ・求人情報提供数：78件

### (2) 福祉の仕事への理解の促進

よこはま福祉・保健カレッジ参画機関が行う就労支援への協力として、就職説明会を実施し、福祉の仕事への理解促進を図るとともに施設・事業所のイメージアップのための発信を支援しました。

また、市内の福祉・保健関係の事業所に対し、福祉人材確保を支援するセミナーを開催しました。

各区社会福祉協議会が実施する就職相談会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催は中止となりましたが、コロナ禍における今後のニーズに対する情報共有を行いました。

#### ア 就職説明会の実施

介護労働講習受講者を対象に、就職説明会を行いました。

横浜市内の施設・事業所が作成した動画を紹介したほか、精神障害、知的障害、身体障害の各施設から施設長をお招きし、障害分野における施設の様子や仕事内容をお話しいただくなど、福祉現場の様子を伝える機会を設けました。

開催日：令和3年9月28日（火）参加者：43人

動画による施設・事業所紹介：10施設

#### イ 人材確保支援セミナーの実施

市内社会福祉施設・事業所の管理者・採用担当者等を対象として、セミナーを実施しました。本セミナーは、会場受講と同時配信を併用して実施しました。

日程：令和3年12月7日（火）

研修名：人材確保支援セミナー「採用と定着のための特別講習」（共催：横浜市社会福祉協議会経営者連絡会議、横浜市福祉事業経営者会）

講師：坂本 宗庸 氏

（株式会社リクルート HELPMAN JAPAN グループ シニアエバンジェリスト）

参加者数：会場受講 18人 同時配信 32人

## 6 調査研究事業

横浜市における福祉保健事業向上のため、調査研究を行う団体を募集し、研修情報や場を提供する等、調査研究活動の支援を行いました。

	R1 年度	R2 年度	R3 年度
登録団体数 (団体)	2	1	1

## 7 ウィリング横浜の特色を生かした独自性のある事業

こころの相談室を運営しています。

福祉保健関係者の抱える問題の解決や心理的負担の軽減を図り、福祉保健関係者がより充実した活動ができるようになることを目的として、カウンセラーによる相談事業を実施しました。また、利用促進を目的として、LINE や「福祉よこはま」(横浜市社協の広報紙)に広告を掲載しました。

	R1 年度	R2 年度	R3 年度
開設日数 (日)	132	121	145
利用件数 (件)	143	124	139

※まん延防止重点措置期間および緊急事態宣言期間(令和3年4月20日～9月30日)の平日夜間は電話相談のみの受付

令和3年度 福祉保健研修交流センターウィリング横浜 指定管理事業収支決算書

収入

項目	予算	決算	差引	説明
受託金収入	166,557,000	173,230,495	△ 6,673,495	
横浜市指定管理料	166,557,000	166,606,000	△ 49,000	
横浜市による運営支援	0	6,624,495	△ 6,624,495	
事業収入	60,848,000	54,164,944	6,683,056	
参加費収入	8,700,000	8,841,000	△ 141,000	研修参加費
利用料収入	52,100,000	45,279,270	6,820,730	研修室利用料等
手数料収入	48,000	44,674	3,326	運送サービス受付取扱手数料等
負担金収入	726,000	488,770	237,230	
利用料等負担金収入	456,000	270,970	185,030	コピー機売上金等
負担金収入	270,000	217,800	52,200	テキスト代等
雑収入	2,706,000	1,309,808	1,396,192	自動販売機取扱手数料等
法人会計より負担	9,080,000	0	9,080,000	
収入計	239,917,000	229,194,017	10,722,983	

支出

項目	予算	決算	差引	備考欄
人件費支出	129,881,000	118,981,514	10,899,486	
職員給料支出	67,832,000	59,577,034	8,254,966	
職員俸給	54,374,000	51,691,100	2,682,900	
職員諸手当	10,979,000	5,561,074	5,417,926	
通勤手当	2,479,000	2,324,860	154,140	
職員賞与支出	15,491,000	14,958,787	532,213	
非常勤職員給与支出	30,343,000	28,546,965	1,796,035	
法定福利費支出	16,215,000	15,898,728	316,272	社会保険料
事業費支出	99,971,000	98,854,714	1,116,286	
水道光熱費支出	20,000,000	19,719,973	280,027	
消耗品費支出	2,130,000	2,985,997	△ 855,997	コピー表紙、事務用品等
器具什器費支出	800,000	1,630,680	△ 830,680	研修室貸出備品等
保険料支出	95,000	92,590	2,410	施設賠償保険料
賃借料支出	1,143,000	1,640,077	△ 497,077	図書管理システム用機器、AEDリース費用等
諸謝金費支出	5,044,000	4,736,480	307,520	研修講師謝金等
旅費交通費支出	146,000	127,304	18,696	職員出張旅費
印刷製本費支出	1,340,000	899,970	440,030	研修案内冊子、封筒印刷費
修繕費支出	3,200,000	3,053,853	146,147	館内設備等修繕
通信運搬費支出	1,673,000	1,440,873	232,127	電話料金、研修受講通知等送付経費
会議費支出	80,000	45,000	35,000	委員会費用弁償等
広報費支出	294,000	146,000	148,000	研修室利用案内・研修周知等
業務委託費支出	48,571,000	46,634,997	1,936,003	施設保守管理業務、研修周知等
手数料支出	1,251,000	924,300	326,700	振込手数料等
租税公課支出	12,044,000	12,721,263	△ 677,263	消費税、印紙税
蔵書購入費支出	2,160,000	2,054,904	105,096	情報資料室書籍
雑支出	0	453	△ 453	
事務費支出	1,724,000	1,401,071	322,929	
福利厚生費支出(事務費)	346,000	329,129	16,871	健康診断費用
研修研究費支出(事務費)	119,000	36,244	82,756	職員派遣研修費
事務消耗品費支出(事務費)	198,000	198,978	△ 978	
通信運搬費支出(事務費)	492,000	203,808	288,192	
業務委託費支出(事務費)	219,000	218,900	100	
賃借料支出(事務費)	272,000	271,920	80	ネットワークセキュリティ経費
保守費支出(事務費)	68,000	132,092	△ 64,092	勤怠システム保守費
諸会費支出(事務費)	10,000	10,000	0	
負担金支出	7,000	7,000	0	
固定資産取得支出	850,000	930,105	△ 80,105	設備時計等
法人会計へ	7,484,000	9,019,613	△ 1,535,613	
支出計	239,917,000	229,194,017	10,722,983	

収入計-支出計	0	0
---------	---	---